

■熊谷蓮心(直恭)
くまがいれんしん
蘭学階梯・・・1783=

商人，社会事業家。飢饉へ対処すべく諸マニュアルを執筆・頒布，後半生を全て救済活動に賭けた。

京都生れ。筆墨薫香を家業とする熊谷直性の子。

田沼意次失脚1786= 3歳：

ラクスン来日・ 1792= 9歳：

松平定信引退1793=10歳：

宣長没・・・ 1801=18歳：

・・・ 1810=27歳：

合香の練法を按じ，印香を発明，また水筆を創製する。

水野忠成老中1818=35歳：

群書類従完結1819=36歳：

救血賑濟の志篤く，

異国船打払令1825=42歳：*「牛馬放生勸進弁」「牛馬放生すすめくさ」と題する自筆一枚摺を頒布，

放生所を作り，老朽の牛馬を買得・放養した。

シボク事件・ 1828=45歳：

シボク追放・ 1829=46歳：_飯米食延ばしのために「麦飯のすすめ草」，

天保大飢饉始1833=50歳：_「飢饉用心書」上・下，

・・・ 1836=53歳：*「食物用心書」上・下，「飢講せざる心得」などを頒布，粗食の慣れ，飯米の食延ほしを力説。この年からの大飢饉には，金銀米穀を出し，賀茂川三条に救小屋を立て，窮民を収容し，医療を施す。

大塩平八郎乱1837=54歳：

阿部正弘首座1845=62歳：

孝明天皇・・・ 1846=63歳：

北斎没・・・ 1849=66歳：*長崎から牛痘菌を取り寄せ，種痘場(有信堂)にて施術する。

ペリー来航・ 1853=70歳：*コレラ流行にあたって，「急病予防」を頒布したが，コレラに罹って没した。

ほかに「儉約すすめ草」「陰術肝要抄」「つつしみ草」「よるこび草」「たのしみ草」「そだて草」「種病すすめ草」「牛痘施行弁」。